



カリフォルニアの風

サンフランシスコ日本語補習校 平成30年2月号

海外文芸作品コンクール伝達表彰式行われる

サンフランシスコ日本語補習校は、毎年海外子女教育振興財団主催の「海外子女文芸作品コンクール」に応募しこれまで多くの賞を受賞しています。今年度は、作文の部で優秀賞2点、佳作1点そして短歌の部では佳作1点が選ばれ伝達表彰が行われました。同コンクールは毎年、全世界から約4万点の応募があり文部科学大臣賞をはじめ約500点が表彰されています。また、全国小中学生作品コンクールでも1点が佳作に入賞しています。

本校では、対外の各種コンクールへの応募に加え国語科学習の成果を発表する場として、「校内文芸作品コンクール」も行っています。書くことや読書をする事は、日本語力の向上とともに、生活を見つめ直したり自分の考えを豊かにしたりすることにもつながります。ご家庭でも、これらの取り組みに対するご協力をお願いします。

保護者アンケート結果まとまる

1月に依頼しました「サンフランシスコ日本語補習校教育活動アンケート」の結果がまとまりましたのでご報告いたします。

尚、本アンケートの「意見欄」において、お褒めの言葉から課題の指摘まで様々なご意見がございました。本校としましてはこれらのご意見を踏まえ改善すべきは改善していく所存でございます。これからもよろしくお願いします。ご協力ありがとうございました。

>>アンケート結果の概要

幼稚部では、「補習校設立の趣旨の理解」において「大変よく」と「よく」を合わせると100%、「その趣旨に従って教育活動を進めている」の質問項目でも同じく100%となっています。本校経営の根幹をなす「保護者参加型」の方針が幼稚部の保護者に浸透している様子が伺えます。この質問項目については「小学部」「中高部」とも高い数値を示しています。

又、「学校生活全体について」は小学部において「補習校の学校生活を楽んでいる」で「大変よく」と「よく」を合わせると88%でした。昨年の89%に比べ1%減っていますが統計的にみると有意差はないようです。

次に「学習指導面」で中高部においては、「意欲的に授業に取り組んでいる」の質問で「大変よく」と「よく」を合わせると80%で全質問中最も低い数字となっています。また、「あまり」と「分からない」を合わせると19%と高い数字となっており課題の一つとして考えられます。

補習校に通う意義についてもう一度しっかりと考え直して、主体的に学習に取り組むことが求められます。